



農作物の需給を予測し、取引の仕組みや物流を効率化します

概要

産地、卸、小売の間で分断されている情報流を確立し、農作物の需給を予測します。必要な時・場所・量に合わせた農産物取引を実現することで、各プレイヤーの収益性を向上させ、食の危機に向かいつつある日本の社会課題を解決することを目標とします。

特徴

- 予測情報を用いた取引による農産物流通の効率化

利用シーン

- 農産物流通

今後の展開

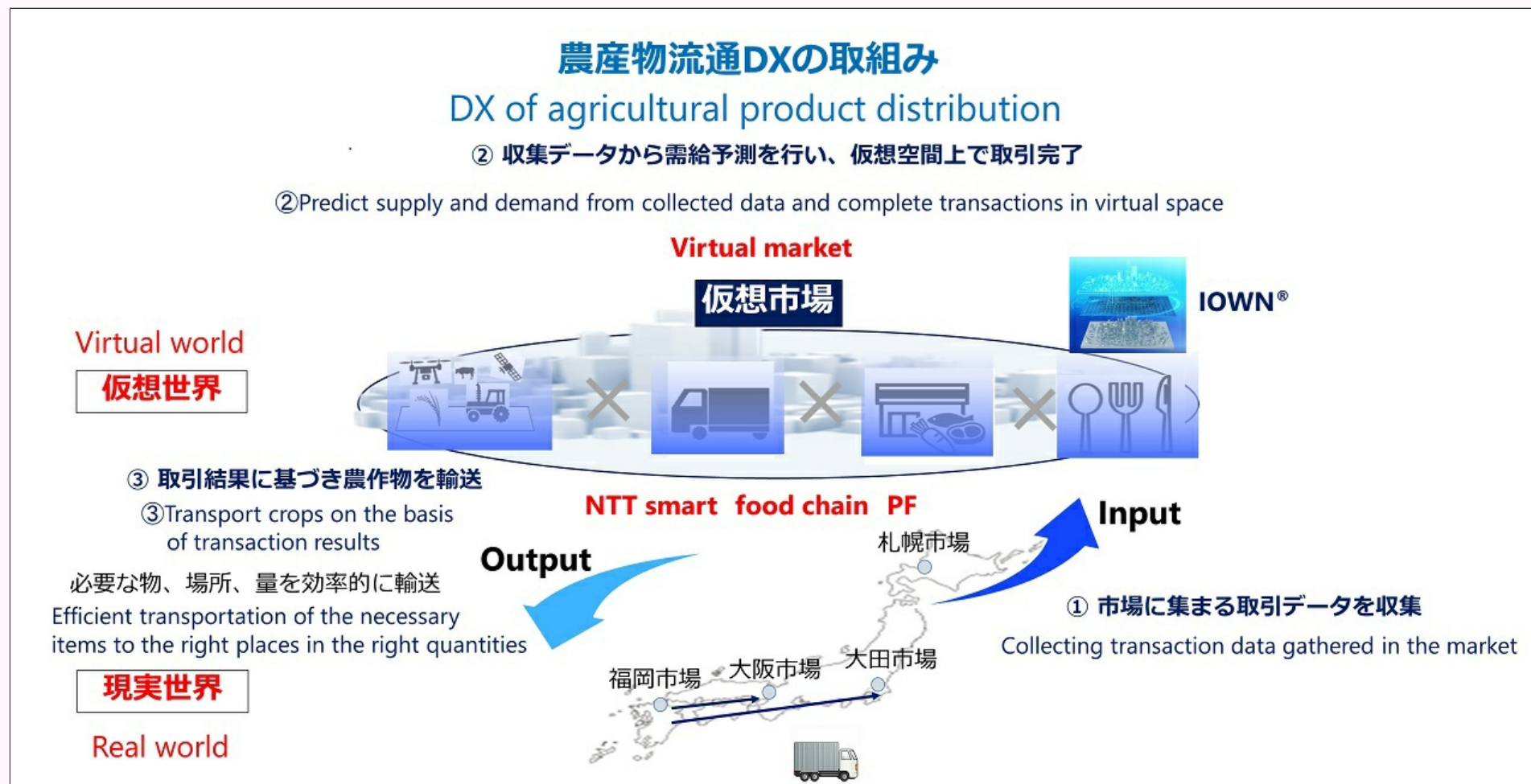
- 来年度まで実証実験を行い、有効性、ビジネス性を検討します。国内の農産物流通に活用後、将来は輸出取引への活用も含めて検討を行います。

コラボレーションパートナー

- 株式会社神明ホールディングス、東果大阪株式会社

出展社

日本電信電話株式会社、
NTTビジネスソリューションズ株式会社、
株式会社NTTアグリテクノロジー



問い合わせ先：ntt-agri-ml@ntt.com